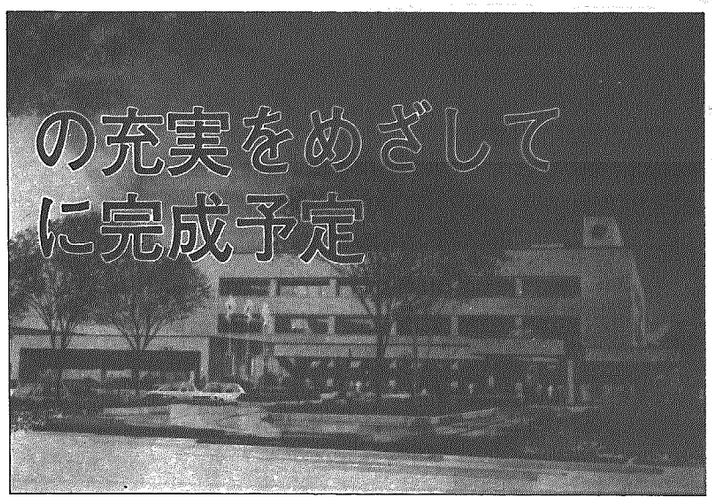
新庁舎建設工事はじまる

いよいよ待望の役場庁舎建設工事がはじまります。現在の村庁舎は、昭和八年に旧県庁最林部の古材を払い下げて建てられたもので、ゴシック風で当時はモダンな建物でした。しかし、近年の行政需要の増加で手ぜまになり、老朽化も著しく新庁舎の建設が迫られていました。

新庁舎は二年後の昭和六十年三月完成の予定で、新しい村づくり、行政運営の拠点施設にふさわしい姿を見せてくれるでしょう。



新庁舎完成姿図

六億一、三〇〇万円で落札

庁舎建設にあたって十一月十八日、臨時議会が開かれ、十一月十四日に指名十五業者によって行われた競争入札で加賀田・石井共同企業体が六億一、三〇〇万円で落札した工事請負契約の締結について審議が行われ、原案通り可決承認されました。

なお、入札は本体工事をはじめ、電気、空調、給排水、外構、エレベーターなどを含めた一括入札がとられました。

庁舎建設は、昭和五十四年三月役場部内で庁舎建設企画調査委員会（57年11月から庁舎建設委員会）を発足させて建設予定地、庁舎設計、資金計画など具体的な検討を行う一方、建設基金の積立を昭和五十三年度から行い準備をすすめてきました。

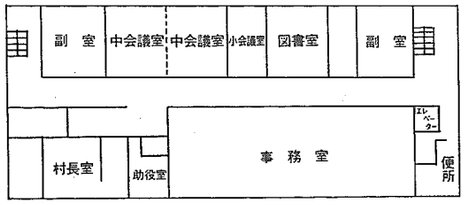
また、村民各界、各層の考えが反映された庁舎にするために、昭和五十五年四月役場建設審議会を設置して、建設予定地、施設の規模、内容を諮問し答申を得てきました。

庁舎用地は昭和五十六年七月新津地域土地開発公社事業で、横越村農協裏、県道新潟・横越線（通称赤道）と大規模農道との交差点の南側一四四一七平方㍍を取得。

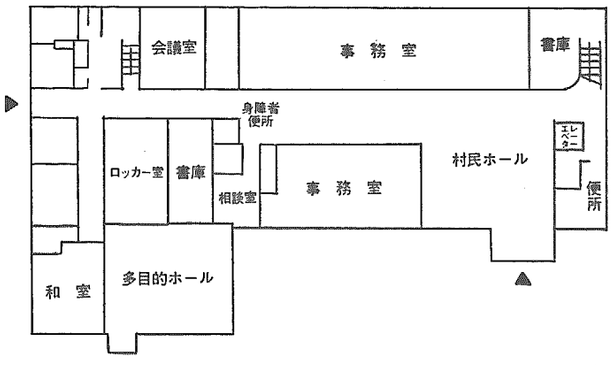
庁舎建設工事入札結果

1. 工事名	横越村役場庁舎建設工事
2. 工事場所	横越
3. 入札日	昭和58年11月14日
4. 入札者数	14業者
5. 落札額	61,300万円
6. 落札者	加賀田、石井共同企業体
7. 工期	昭和58.11.18～60.3.21

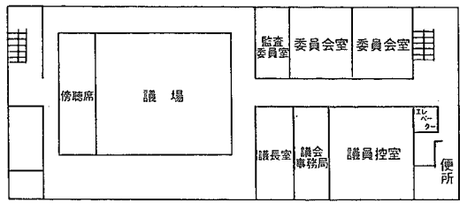
〔庁舎棟2階〕



〔庁舎棟1階〕



〔庁舎棟3階〕



〔平面図〕

行政サービス 59年度中

庁舎の特色

明るく広い空間
わかりやすい全体構成

庁舎は庁舎棟が鉄筋コンクリート造、地上三階、建築面積二、九五八平方㍍、車庫棟は鉄骨造地上二階・七五三平方㍍。

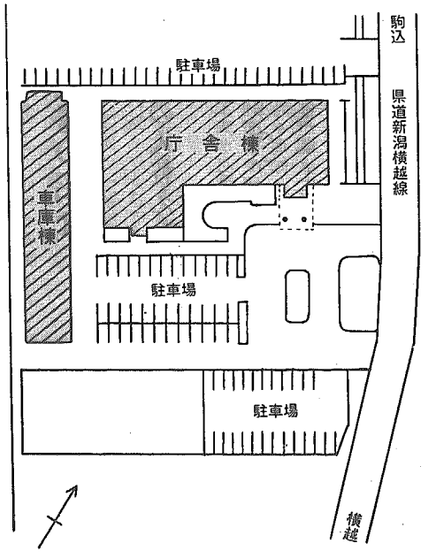
庁舎の特徴は来庁者の多い窓口部門を一階にまとめ、二階に首脳部門・一般事務部門・会議室部門、三階に議会部門を配置し、わかりやすい全体構成がされています。

エレベーター、玄関・議会傍聴室にスロープや身障者便所を設置し、お年寄りや身障者などのハンディキャップを持った村民でも一般村民と同様なサービスが受けられるよう設計されています。

村民のロビーとしての村民ホールは、明るく広い空間とし、展示コーナー、ラウンジ等を設置し、庁舎前の陽だまりコーナーとつながったくつろげる空間となっています。

設計は、五業者によるコンペで、昭和五十八年四月佐藤武夫設計事務所に決まりました。

〔配置図〕



佐藤千代志さんら交通安全表彰

新潟南署

去る十一月十日新潟南警察署において南署管内交通安全協会役員会が開催され、秋の交通安全表彰式が行なわれました。本村関係では佐藤千代志さんほか次の方々が表彰されました。

- 交通栄誉賞緑十字銅賞
  - 佐藤千代志（木津）
- 県交通安全協会功労者
  - 五十嵐孝哉（沢海）
  - 佐藤栄太郎（木津）
- 地区安全協会功労者
  - 小杉支部　三名
  - 横越下支部　四名
  - 二本木支部　三名
  - 駒込支部　三名
  - 沢海支部　三名

学校よりも親

デパートのウインドーにミンクや銀ギツネなどの豪華な毛皮が陳列され、女性のため息をさそう季節となった。

今年も残すところあと わずかにして、昭和五十九年の新しい年を迎えるふり返って見ると、今年も、いろいろな事が起こり、解決したもの、継続しているものこれからの問題などがあるが中にも青少年の非行問題についていては、一層真剣に考えなくてはならない重要な問題であると思う。

国としても〝ゆとりある充実した教育〟をと一生懸命にその問題に取り組んでいる。

非行に走るのは授業が分らないのが原因だなどと一方的に決めつけている人がいるのも考えものである。

二十一世紀に向けて十三期中央教育審議会では、中学校での生徒の習塾程度に応じた指導を求めているが、これもまた、だいぶ問題がある様である。児童生徒の非行問題行動の増加傾向は、知、徳、体の調和のとれた人間形成に変化が生じていることに関連しているのだと思えば、単に学校教育に問題があるとか、教師の責任ということのみをいうことに対して疑問を感じてならない。自己の抑制欠如などの問題は、むしろ、学校でなく、家庭であり、地域などの生活環境の変化に伴って乳児期からの成長の過程で、必要な生活体験が否定していることに起因しているのではないかと思う。

子供は生まれると同時に未来に向って素晴しい生命をもって生きようとする。生れた時は母の乳房にシガミつくのが精一杯であり、母親を離れては一時も生きられない、それが人間として直立二本足の歩行を覚え、そして、保育園小学校という枠組の中に入り九年間の義務教育を受ける。

その生れてからの十五年間が一番大切の時期であり、その積み重ねにより、素晴しい人生の道が開けると思う時、小学校、中学校の垣根は絶対的でない激動期でもある。昨日の小学生は今日の中学生でないということを親が今一度良く考えて、子供に対して、親がどのような言葉をかけたら良いか、そのユガミ、狂いをどの様に直すべきか。まず親が中心になり、地域、学校と共に青少年の非行防止の為に努力を続け、皆んな「人善言を与うるは布帛よりも煖かし」ということわざがあるように地域の人々と手を取りあい、明日の横越村の発展の為健康に留意して、良いお年をお迎えくださるよう祈念致します。

（山崎）

ご協力ください

- 昭和58年工業統計調査
- 石油等消費構造統計調査

通商産業省では、上の二つの調査を12月31日現在で行います。

調査対象となった事業所には、年末年始にかけて調査員が伺います。ご協力をお願いします。

村社会福祉協議会に寄附まことにありがとうございました。（敬称略）

新栄信用組合50万円、今井朝一5万円　上村三一5万円、村手淳一 10万円、匿名5万円　連合婦人会34,957円、商工会青年部4,398円、横山寝具店座布団27枚